



第68回日本脳循環代謝学会学術集会

脳循環代謝 — normal physiology and pathophysiology

たかはし しんいち

会長 高橋 慎一 氏 (埼玉医科大学国際医療センター脳神経内科・脳卒中内科 教授)

10月17日(金)・18日(土)、さいたま市浦和区の埼玉会館で「第68回日本脳循環代謝学会学術集会」が開かれる。原点回帰と最先端をコンセプトとし、多彩なプログラムで未来に迫る。学際的な同学会ならではの多分野にわたる刺激的内容について、会長の高橋慎一氏に伺った。

歴史を振り返り学会設立の目的を再確認

日本脳循環代謝学会は脳の生理学あるいは病態を究明するため、1967年に研究会として発足し、世界で活躍できる人材の育成も推進してきました。脳循環代謝学をリードしてきた米国とも長年にわたる交流があり、当学術集会では Weill Cornell Medicine の Costantino Iadecola 氏、University of Washington School of Medicine の Gregory J. Del Zoppo 氏に、特別講演にご登壇いただける予定です。脳循環代謝学の重鎮である両氏にこれまでの歴史を総括していただくことで、今一度、学会設立の原点に立ち返る機会とする所存です。

開催テーマとして掲げた「脳循環代謝— normal physiology and pathophysiology」も、脳循環代謝についての正常生理と病態生理を探究するという当学会の基本理念を具体化したものです。特定の病気ではなく最も根本的な脳の循環と代謝をテーマとしているので、関連領域は広範囲に及びます。そのため今回も、臨床研究、基礎研究、画像研究、それらを橋渡しするトランスレーショナルリサーチと、多分野にわたるプログラム構成となりました。

最先端のテーマ、多面的な切り口

招待講演は最先端のテーマを中心としています。iPS細胞を用いた再生医療と創薬で知られる岡野栄之氏(慶應義塾大学再生医療リサーチセンター・センター長)、生化学の新しい研究領域「ガスバイオロジー」を開拓した末松誠氏(公益財団法人実中研・所長)をお呼びしました。教育講演として、意識のデジタル化に挑む渡邊正峰氏(東京大学大学院工学系研究科)、ブレイン・マシン・インターフェースの到達点について牛場潤一氏(慶應義塾大学理工学部生命情報学科)、グリアリンパ系のMRI画像の開発秘話について田岡俊昭氏(名古屋大学大学院医学系研究科)、漢方からみた脳循環代謝について韓晶岩氏(北京大学基礎医学院)の4トピックをお願いしました。

さらに七つのシンポジウムを組み、多面的な切り口で研究領域を互いに照らしながら脳循環代謝の真理に迫ります。一般講演は例年通り約100題を予定しています。一方、

忌憚のないフロアディスカッションも当学術集会の伝統です。そこでホワイエの広い会場を確保しました。学際的な学会ならではの醍醐味を味わっていただければと思います。

文教都市・浦和の魅力にもふれて

今回の開催地を浦和にした理由の一つは、私自身が当地の病院に長く勤務した経験があり、この地の魅力を発信したかったからです。会場の埼玉会館は昭和モダニズムの旗手、前川國男氏が手がけた歴史的建造物。近くには別所沼という観光名所もあり、閑静な文教都市・浦和の空気を感じていただけるでしょう。また、学術集会初日には“浦和の夕べ”として全員懇親会を場を設けたいと思っています。

ポスターの背景は脳循環代謝学の父・Louis Sokoloff氏が板書した脳のグルコース代謝に関する方程式で、私が留学時代に撮影したものです。当学術集会を象徴するものとして掲げました。あらゆる分野で脳に関わる皆様方に、新しい発見をしていただける多彩な内容となっていますので、ぜひご参加いただけましたら幸いです。



主なプログラム(予定)

● 特別講演

10月17日(金)9時30分～10時20分 Costantino Iadecola (Weill Cornell Medicine)

10月18日(土)10時50分～11時40分

Gregory J. Del Zoppo (University of Washington School of Medicine)

● 招待講演

10月17日(金)11時30分～12時20分 岡野 栄之(慶應義塾大学)

10月18日(土)13時50分～14時40分 末松 誠(公益財団法人実中研)

※敬称略

会期:10月17日(金)・18日(土) 会場:埼玉会館

運営事務局:サンプラネット メディカルコンベンション事業部

brainjapan2025@sunpla-mcv.com <https://square.umin.ac.jp/brainjapan2025/>